

暗唱聖句

イエスは、この最初のしるしをガリラヤのカナで行って、その栄光を現された ヨハネによる福音書 2章 11節
---

ねらい

神様の恵みとは、いつも思いがけない形で来る。

ポイント

ヨハネによる福音書における「しるし」とは、単なる奇跡ではない。イエス様が誰であるのかということをはっきりと示すものである。

単なる「めでたしめでたし」という話ではない。救いに関する大切なメッセージがここに隠されている。

豆知識

ヨハネ福音書を最初から読んでいくと、この箇所が6日目ということになる。6日とは、神様が天地を創造されたのと同じ日数。新しい創造を意識しているのかもしれない。

イエス様が言われる「わたしの時」というのは、十字架のこと。

1メトテレスは、約39リットル。2ないし3メトテレスは、約100リットルにもなる。それが6つ分のぶどう酒は、我々の想像を遥かに超える量である。

ぶどう酒は血を連想させる。6つの水がめの水がぶどう酒に変わった。7つ目は、イエス様御自身であるとも考えられる。

説教例

今日の福音書のお話は、とっても不思議なことが書いてあります。大きな水がめいっぱいに入った水が、全部ぶどう酒に変わってしまった、というのです。まるでおとぎ話のようなお話ですが、これも聖書の物語ですから、私たちと神様との間にある、大切なメッセージが語られているのです。いったいどんなお話でしょうか。

今日の舞台は、結婚式です。皆さんは結婚式を見たことがありますか？その後にある、披露宴というのはどうですか？披露宴とは、家族や友達を招いて、一緒に結婚を記念してパーティーをすることです。今の日本でも、沢山の食事やデザート、ジュースやお酒が用意されます。どんなに多くの人で飲んだり食べたりしても無くならないくらい、たくさんの食事が用意されます。集まった人たちみんながその食事を楽しみ、結婚をお祝いするのです。有り余るほどの食事が出てくるのは、もったいない気もしますが、それだけ結婚というのは特別なことなのです。

さて、今日のイエス様は、カナという町での結婚式に招待されていました。弟子たちも、イエス様のお母さんのマリアさんも一緒です。みんなで楽しく結婚を祝っているときに、なんとぶどう酒がなくなってしまった、という事件が起こりました。皆さんはお酒を飲まないでしょうかから、このことの大変さがまだピンとこないかもしれませんが、これは本当に大変なことです。せっかくの楽しいパーティーが急に白けてしまうような、招いた側も招かれた側もこまってしまうような出来事です。皆さんも、せっかくのパーティーでお茶もジュースもなくなってしまい、水しか飲めないという場面を想像してみてください。少し淋しいですね。

すると、最初に言ったことが起きました。そこにいた人達は、イエス様の言われたとおり、清めの儀式に使う大きな水がめに水をいっぱいにして運んでいると、その水がぶどう酒に変わっていたので

す。このぶどう酒は、最初にみんなで全部飲んだぶどう酒よりも良い味がしたそうです。とっても不思議な話ですね。でも、この話はただの奇跡のお話ではありません。水がぶどう酒に変わった、ということに、とっても大切な意味があるのです。

最初にぶどう酒がなくなったということは、いわば喜びが枯れてしまったのと同じことです。しかも、突然です。突然それまであった喜びが消えてしまうこと、幸せが消えてしまうことがあります。そんなとき、私たちはとても驚きますし、混乱してどうしていいのかわからなくなります。でもそんなとき、本当に思ってもみない仕方で、最初にあった以上の喜びが訪れるのです。「なんで、今、こんなことが起こってしまうの？」という私たちの驚きを、神様は聞いてくださっているのです。そして、そんな私たちを、新しい喜びで満たしてくださるのです。

どんなに大変なことがあっても、喜びが枯れてしまったように思っても、そんなときにこそイエス様は私たちに喜びを与えてくださるということを、心に留めておいてください。諦めずに、これからもお祈りしていきましょう。

## 分級への展開

さんびしよう

\* 讚美歌は " こどもさんびか " (日キ版) より

19番

改訂126番

話してみよう

・ヨハネによる福音書の1章19節から2章11節までを日付に順に並べて、その日ごとに何があったか書きとめてみよう！

・また、そこから気づくことが何かあるか考えよう（答えとしては、本日の日課が6日目。天地創造もまた6日間になされた。）

・イエスは母親のことを「婦人よ」と呼びかけるが、自分の母親を「母」と呼ばないのはどんなとき？  
また、そういったときどんな気持ちになる？

・イエス様に「婦人よ…」と言われたのに、マリアが召し使いたちに「何か言いつけたら、そのとおりに…」といったのは何故だと思う？

やってみよう

《ねらい 液体の変色を体験》

紅茶      レモン汁   =   色が薄くなる。

紅茶      はちみつ   =   色が濃くなる。

ムラサキツユクサ      レモン汁   =   赤

紫キャベツの煮汁      酢・炭酸飲料   =   赤系統

マロウティ(青)      レモン汁   =   ピンク色

などなど、混ぜる液体も工夫してみると色の変化また、味の違いなど驚きを体験してみましよう。

暗唱聖句

家に入ってみると、幼子は母マリアと共におられた  
マタイによる福音書 2章 11節

ねらい

- ・イエス様の誕生は、民族や国境という壁を越えて、世界中の人に広がっている。

ポイント

- ・訪れた学者たちはもちろんクリスチャンではない。ユダヤ教徒でもない。そんな彼らにとっても、イエス様の誕生は喜びであった。
- ・最初に行われた礼拝は、外国人によるものだった。
- ・イエス様の誕生は、預言の成就である。その意味においても、「神の言葉が人となった」といえる。
- ・外国人が訪れて喜んだということは、ユダヤ人にとっては衝撃的。私たちはクリスチャンでない人がクリスマスを祝うことに抵抗を感じることもあるが、それに似ているのかもしれない。しかし、イエス様はクリスチャンのために生まれたのではなく、すべての人のために生まれたのである。

豆知識

- ・聖書には、学者たちが3人だったとは書いていない。
- ・黄金は王権の象徴、乳香は神聖の象徴、没薬は死（埋葬）の象徴とされている。

説教

「クリスマスの場面を、想像してみてください」と言われたら、皆さんはどんな景色を思い浮かべますか？ たぶんほとんどの人が、絵や、人形が並べてある、あの馬小屋を想像すると思います。小さな飼葉桶の中に赤ちゃんのイエス様がいて、その横にマリアさんとヨセフさんがいて、羊飼いと羊がいて…。もうちょっと人がいますね。3人の、きれいな服を着た男の人たちです。今日の聖書の物語に出てきた「占星術の学者たち」というのは、その人たちのことです。占星術というのは、いわば昔昔の天文学です。この学者たちは、宇宙の謎が今よりもっともっと深かった時代の天文学者と言ってもいいでしょう。もちろんクリスチャンではありませんし、旧約聖書の言葉を信じていた人々でもありませんでした。そんな人たちが、新しい王様がお生まれになったということを、遠くから星を見て知り、はるばる訪ねてきたというのです。謎だらけの物語ですが、聖書はそんな物語を伝えています。これには、どんな意味があるのでしょうか。

学者たちは、新しい王様に会うために、まず今の王様であるヘロデという人のところに行きました。王様だから、宮殿にいるのではないだろうか。そう考えるのは当然ですね。ところが赤ちゃんはそこにはいませんでした。たくさんの方が調べてみると、旧約聖書の言葉の中に次のような言葉を見つけました。「ベツレヘムよ…お前から指導者が現れる」という言葉です。新しい時代の王様は、ベツレヘムという町で生まれる。それは、旧約聖書に書かれた預言、つまり神様が昔約束していたことだったというのです。イエス様がお生まれになったことは、神様が与えてくださった約束だった。その約束が、本当のことになったのかもしれない。この話を聞いた王様や周りの人たちは、とてもびっくりしました。突然、外国人が現れて、そんなことを言うのですから、びっくりしますよね。

ベツレヘムで生まれたらしいという話を聞いて、学者たちはまた出かけました。そして、ずっと追いかけてきた星が止まったのです。長い長い旅が終わって、その家の中に入ってみると、赤ちゃんのイエス様がいました。学者たちは、外国人であるにもかかわらず、この赤ちゃんを拝んで、宝物を献げました。つまり、イエス様が生まれたのは、限られた人たちのためではなく、本当にすべての人のためだった、ということなのです。

遠い昔に起こった出来事、私たちからすれば、遠い国の、小さな町で起こった出来事ですが、今、その時間と場所を超えて、イエス様がお生まれになったことが伝わっています。それは、何千年も前からある神様の約束の中を、私たちも生きているということです。そして、教会に来ていない人、まだイエス様を知らない人たちも、その約束の中にいるということです。この一週間、そのことを心に留めて過ごしてみてください。どんなことがあっても、希望が湧いてくるはずですよ。

## 分級への展開

さんびしよう

\* 讃美歌は ” こどもさんびか ” (日キ版) より

21番

改訂78番

話してみよう

- ・学者たちが持ってきた宝物の意味を考えてみよう。(それぞれ何を象徴してる?等)
- ・今までもらって一番嬉しかったプレゼントって何?  
去年のクリスマスは何をもらった?
- ・イエス様の家の上に輝いた星は、その後どうなったと思う?

やってみよう

《ねらい 博士が見た様子を感じてみる。》

聖母子像や絵を見せて、博士の立場でマリアとイエスの姿を見る。

思う事・感じる事を言わせてみる。

担当者が、幼い自分と親や自分と幼い我が子の映っている写真を見せるおまけがあっても、興味をひくかもしれませんね。(\*^。^\*)

暗唱聖句

あなたはわたしの愛する子、わたしの心に適う者  
マルコによる福音書 1章 11節

ねらい

「あなたは神様の子どもです。あなたのことを神様は喜んでいます」ということをはっきりと伝える。

イエス様が洗礼を受けられた意味を考える。

説教作成のヒント

マタイ・ルカに比べて、マルコの伝えるこの記事は非常にシンプル。クリスマスに関連する記事もなく、いきなり大人になってからのイエス様のことを伝えている。

豆知識

「洗礼」を意味するギリシャ語、「バプティゾー」のもともとの意味は、「水に浸す」という意味。「溺れ死ぬ」という意味でもある。水に浸し、古い自分・罪人の自分が溺れ死に、新しいいのち・キリストのいのちに生きようになるという意味がある。

説教例

「あなたは神様の子ども」

「あなたはわたしの愛する子、わたしの心に適う者。」今日は、この言葉を皆さんに持って帰っていただきたいと思います。この言葉は、今日の福音書の箇所、イエス様が聞いた言葉です。

今日の箇所、イエス様は、ヨハネという人から洗礼を受けられました。皆さんの中にも、洗礼を受けた人はいるでしょう。生まれたばかりのときに受けて、覚えていない人もいるかもしれませんね。同じ洗礼を、イエス様は受けられたのです。そのすぐ後、イエス様はご自分の上で天が裂け、神様の霊が鳩のように降ってくるのを御覧になりました。そして、その裂けた天から、イエス様は神様の語りかけを聞くのです。それがさっきの言葉「あなたはわたしの愛する子、わたしの心に適う者」というものです。

天が裂ける。これは、ただ雲が分かれて光が差し込むとか、そんなよく見かけるような出来事ではありません。裂けるはずのない天が裂けるのです。それは、神様がこの世界に対して、今までにない仕方で語りかけてこられたということなのです。そして、そのようにして語られた言葉とは、今までにない、特別な語りかけなのです。さっき読んだ「あなたはわたしの愛する子、わたしの心に適う者」という言葉は、それだけ特別な言葉なのです。

そして、これはイエス様に語られた言葉ですが、同時に、私たちにも語られた言葉なのです。私たちはこの言葉を、神様が私たちに向けて語ってくださった言葉として聞いてよいのです！何故でしょうか。それは、罪の無いお方である神様のひとり子が、罪の赦しの洗礼を受け、私たちと同じ場所に立たれたからです。造られたものである私たちと共にいることを、神様ご自身が望まれたからです。神様は、神様から離れてしまった私たち人間を、再び神様の子とするために、ご自分の大切な独り子

を、私たちのところにお遣わしになったのです。そこまでしなければ、私たちは救われないということ、他でもない神様が一番ご存知だったから、イエス様は私たちのところに来てくださったのです。

このイエス様を通して、私たちもまた、神様の子として生きていくことができるのです。いや、実はずっとそうなのです。私たちはいつも、神様からの優しい眼差しの中を歩んでいるのです。ですが、私たちの日常に起こる色々な出来事が、辛い出来事が、私は神様の愛に相応しくない、神様は私を見捨てたのだと思わせ、その神様の眼差しを遠ざけるのです。ですから今日、もう一度、神様に立ち返って、この礼拝を後にしたいのです。

イエス様が私たちのところに来られたことによって、私たちは神様の子とされたのです。今日から始まる一週間も、新しい出来事がたくさん起こるでしょう。ですがどのようなときも、私たちには神様の御心がなされているのだということ覚えて、歩んでいきたいと思います。幸せなときはもちろん、辛いときにはより強く、今日の神様の言葉を思い出してください。あなたは、神様のこどもなのです。神様は、あなたのことを、喜んでおられるのです。

皆さんの上に、神様からの豊かな祝福がありますように。

## 分級への展開

さんびしよう

\* 讃美歌は”こどもさんびか”(日キ版)より

1 番

改訂 8 番

話してみよう

- ・「愛」という単語が入っている歌を出し合ってみよう。
- ・「愛する」ってどんなこと? 「愛される」ってどんなこと?  
どんな時に「愛している」とか「愛されてる」って感じる?
- ・イエスさまは、「わたしの愛する子」と話す神さまの声を聞きました。  
そのとき、イエスさまはどんな気持ちだった?  
また、イエスさまに洗礼を受けたヨハネは、どんな気持ちだった?

やってみよう

《ねらい 洗礼について幼児向きに知らせる。》

洗礼 = 神様の子どもになる。

神様があなたを選んでくれている。

神様があなたを大切にしてくれている。 事を伝える。

手作りの冠・名札・ペンダントなどを用意して、

「今日教会に来たあなたは、選ばれた人です。」と言って渡す。

暗唱聖句

わたしについて来なさい。人間をとる漁師にしよう

マルコによる福音書 1章 17節

ねらい

「イエス様に従う」とはどういうことが、考える。

「なんでもないあなたが選ばれたのだ」ということを伝える。

ポイント

弟子になることは、イエス様から声をかけている。自分からなりたいと志願してなるのではない。

イエス様に従うと、良い事ばかりがあるわけでは勿論ない。むしろ、苦しい現実から逃げられなくなる。しかし、最後には必ず大きな喜びがある。

豆知識

18節「従った」という言葉は、旧約聖書がギリシャ語に訳されたとき、イスラエルの神である主につくか、バアルにつくかの決断を迫るときにも同じ言葉が使われた。弟子たちの決断は気まぐれではなく、これからの人生、イエス様に従っていくという大きなものであった。

説教

皆さんは、湖を見たことがありますか？海ほど大きくはないのですが、とっても広くて、魚もその中で生きています。日本では、琵琶湖などが有名ですね。イエス様が活動しておられたイスラエルの方にも、大きな湖がありました。それがガリラヤ湖です。（必要があれば、聖書についている地図で確認してみる。）ガリラヤ湖には沢山の魚がいたそうです。その魚を捕まえて仕事をしている人たちもいました。漁師さんといいますが、日本にもたくさんいます。海の方が、想像が付きやすいかもしれません。

今日のお話に出てくるのは、このガリラヤ湖という湖で漁師をしていた人達です。イエス様は、ガリラヤ湖のほとりを歩いているとき、この漁師さんたちを見て、「わたしについて来なさい。人間をとる漁師にしよう」と言われました。魚を取る漁師から、人間を取る漁師になる。なんだか不思議ですね。

「わたしについてきなさい」とイエス様から言葉をかけられた4人の漁師さんたちは、手に持っていた魚を取るための網を捨てて、イエス様に「従った」と、今日の聖書に書いてありました。この4人の漁師さんたちは、ただ「今日は仕事をこのあたりで切り上げて、この人についていってみよう」とか、「おもしろそうだから、とりあえずついていってみるか」といったような、その日だけの、気まぐれな気持ちではありませんでした。イエス様に「従う」とは、「イエス様のものになる」という意味です。4人の漁師さんたちは、イエス様に声をかけられたとき、これからイエス様と一緒に生きていくんだ、と心に決めたのです。すごいことですね。

皆さんは、そのように聞いてどう思いますか？皆さんが声を掛けられたら、こんな風にすぐに従っ

ていけますか？難しいと思います。ですが、実は皆さんも実は声を掛けられているのです。実感はわきにくいかもしれませんが、私たちがそれぞれ違う場所から来て、全然違う人生を歩んできて、でも今ここで、同じ場所で、同じときに、同じ神様を礼拝しています。このことは、神様が起こされた奇跡と言っていいでしょう。私たちは、気づいていないかもしれませんが、今日のイエス様の言葉「わたしについて来なさい」という言葉を聞いているのです。だから、今日もここにいるのです。私たちはすでに、イエス様に従う道を歩んでいるのです。

今日からまた新しい一週間が始まりますが、また新しい出来事・新しい出会いがきっとあるでしょう。中には、悲しいことや、難しいことがあるかもしれませんが、ですが、どんなときでも私たちはイエス様に従って歩んでいるんだ、私たちはイエス様のものなんだということを忘れないでください。どんなことがあっても、きっと大丈夫です。なぜなら、「イエス様に従う」ということは、イエス様の先を進むことではないからです。イエス様がいつも私たちを導いてくれているからです。4人の漁師さんたちが、イエス様の弟子になって歩むことができたのも、イエス様がいつも導いてくださったからです。簡単な道ではないかもしれませんが、必ず最後には大きな喜びが私たちを待っています。元気よく、歩みだしていきましょう。

## 分級への展開

さんびしよう

\* 讃美歌は”こどもさんびか”（日キ版）より

67. 1番

改訂53. 1番

話してみよう

- ・「人間をとる漁師」ってどんな仕事だろう？
- ・一番大切な物を捨てるってどんな気持ちだろう？
- ・将来どんな仕事をしたい？

やってみよう

《ねらい 相手の気持ちを知る。》

魚を捕る仕事から、人間を捕る漁師になるということで、人の心を知ることが仕事となった4人に代わって『人の心の中を知ってみよう！』ゲームをする。

一人は、具体的な物（りんごなど）を心の中に思う。

他の人は、「それは、赤色（黒・白など）ですか？」 「そうです（ちがいます）。」

「それは、丸（四角など）ですか？」 「そうです（ちがいます）。」

...などヒントを導き出していき、相手の心の中にあるものを見つける。

小さい子には、具体的に絵カードなどを見せてそれを覚えておくように知らせる。

暗唱聖句

イエスは、安息日に会堂に入って教え始められた  
マルコによる福音書 1章 21節

ねらい

イエス様の「権威」の意味を知る。

私たちの規範がイエス様にあることを知る。

ポイント

私たちは日々生きる中で、何が正しくて、何が間違っているかを自分自身で問う場面がある。そのような中であって、どこに立ち、どう決断するか？誰に聞くのかを考える。当時の病気や汚れた霊についての考え方もしっかり踏まえておく。

豆知識

「カファルナウム」 ガリラヤ湖の北西、今日のテル・フーム遺跡の場所だとされている。

「律法学者」 もとは聖書の筆者をしていた人々で、その職から聖書に精通し、しだいに律法の教師、注釈者のような高い地位を得るようになった。彼らは自分達の党派をつくらず、ファリサイ派に属するものもあればサドカイ派に属するものもいた。

説教

みなさん、もし今ここで「ここから出て行きなさい！」と言われたら、それが誰から言われた言葉だったら、言うことを聞きますか？私？お父さん？お母さん？学校の校長先生だったらどうでしょうか？それがおまわりさんだったら？みなさんは誰の言うことだったら聞きますか？そして、何故、その人の言うことだったら言うとおりにするのですか？その人が怖いからでしょうか？言うことを聞かなかつたら乱暴されるからですか？

では、イエス様が会堂に入られたとき「ナザレのイエス、かまわないでくれ。我々を滅ぼしに来たのか。正体は分かっている。神の聖者だ。」と叫んだ人は、なぜ「かまわないでくれ」といったのでしょうか？

こう叫んだ人は悪霊にとりつかれた人でした。聖書には良く登場しますが、イエス様の時代の人たちは、人が病気になったり、悪いことをしたりするのは、全部が全部そうではありませんが、その人が悪霊に取りつかれたからだと考えていました。そして、この悪霊と話ができる人は何か特別な能力を持っている人だと考えられていました。そんな人たちの前で、イエス様が「黙れ。この人から出て行け」と言ったら、悪霊がその人から出て行ったのですから、まわりの人たちはびっくり仰天です。みんなは驚いて、悪霊が言うことを聞くこの人は、どんな人なのだろうと話し合いました。

さて、みなさんはどう思いますか？どうしてこの悪霊はイエス様の言うことを聞いたのでしょうか？怖かったからですか？乱暴されると思ったからですか？好きだったからですか？ん？そう、そうですね。先生は一つ大切なことをまだ言っていません。

それは、イエス様の言葉が「権威」に満ちていたということですね。今日の聖書には「権威」という言葉が二回も出てきます。どちらもイエス様の「教え」や「言葉」に関係しています。つまり、この悪霊がイエス様の言うことを聞いたのは、イエス様の言葉に「権威」があったからです。

では、権威って何でしょうか？辞書でみると「権威とは、他の人を服従させる威力。ある分野にお

いて優れたものとして信頼されていること」などという説明がありました。また「威嚇や武力によって強制的に同意・服従させる力ではなく、自発的に同意・服従を促すような能力や関係のこと」とありました。ですから権威とは、暴力やおどしによって人に言うことをきかせるのではなく、その人が、その力に関してはみんなから信頼されていて、まわりの人が自分から、その人の言うことを聞くちからだと思います。ですから、悪霊たちはここで、イエス様の暴力やおどしが怖かったのではなく、イエス様のその力を信頼していたから、言うことを聞かざるを得なかったのでしょう。

では、どのような権威だったのでしょうか？それは、きっと善悪を知る力、正しいことと正しくないことをみわける力、そして正しいことを行う力、人に正しいことを行わせる力なのだと思います。だから人に悪く事をさせる悪霊は、それが悪いことだと知っているイエス様の言うことを聞いたのだと思います。

みなさんはどうですか？何が正しくて何が悪いことか知っていますか？善悪を知っている人も、善いことを行う力、正しいことを行う力は案外少ないものです。悪霊に取り付かれてなくても、善悪を知っていても、悪いことをしてしまう、正しくないことをしてしまうのが私たち人間です。だからこそ、私たちはいつも、イエス様から正しいこと、善悪を聞き、そしてイエス様に正しい行いをする者となるように見守ってもらう必要があるのです。

## 分級への展開

さんびしよう

\* 讚美歌は”こどもさんびか”（日キ版）より

102番

改訂6番

話してみよう

- ・学校で授業のおもしろい先生っている？その先生の授業は何でおもしろいの？
- ・「権威」って何？調べてみよう。
- ・説得力のある言葉って、どんな言葉？（この人の言うことは聞いてしまうな...っていう経験したことあったら、その時の話も踏まえつつ）
- ・当時の一般の人々にとって、イエスさまはどういう存在だったと思う？「もし、自分がそこにいたら、どう思ったか？」というふうに想像してみよう。

やってみよう

《ねらい 見せかけではなく真実を知る》

『権威ある者は誰だ？』ゲームをする。

スタッフ、または小学校高学年以上の子ども、3~4人に前に出してもらう。

そのうち一人の特技を他の人が真似をして、あたかも自分の特技のように見せる。

本当の特技を披露した人は誰か、当ててもらう。